

# 私の中の アントニオ猪木



苫小牧市医師会  
とよた腎泌尿器科クリニック

鈴木 信

2022年10月1日、「燃える闘魂」アントニオ猪木が逝去されました。そして、10月3日にこの原稿執筆依頼が届きました。「新春」とは全く無関係な文章となることをお許しください。

私はアントニオ猪木が好きだ。テレビでモハメド・アリ戦をゾクゾクしながら応援して観ていた覚えがある（自分は中学1年生だったはず）ので、この頃にはプロレスラー／格闘家アントニオ猪木のファンになっていたと思われる。1度だけ実物を見たことがある。大学生時に中島体育センターで新日本プロレスの興行を観戦したのだ。ブルーザー・ブロディ戦であった。アントニオ猪木が入場曲であるイノキ・ボンバイエの流れる中、通路（花道というものではなかった）を歩いてリングへ向かう姿は確かに光っていた。勿論スポットライトは当たっていたのだが、それを跳ね返さんばかりに光っている人を、私は初めて見た。

「私の中のアントニオ猪木」という題であるが、還暦を迎えようとする私が、いつまでも闘魂冷めやらぬ、ファイティング・スピリッツを失わずに日々を送っている、といった高邁な内容ではなく（そう言えれば良かったのだが）、もっとゆるーい話である。猪木さん、ごめんなさい。

私は受け口で、歯科矯正をすることなく成長する過程で、長いアゴという特徴が備わることとなりました。小学生時以来、当然のように私のニックネームはこのアゴに関わるネーミングの変遷でありました。念の為言っておきますが、当時それで特に心が

傷ついていたなどという記憶はありません。そして北海道大学医学部スキー部において「イノキ」と呼ばれるようになりました。由来は勿論アゴにありますが（ちなみに身体は大きくはなく、170cm / 60kg）、私がアントニオ猪木が好きであると公言したこともあったと思います。スキー部内の宴会芸として、アントニオ猪木の形態模写・・・拳を握ってファイティング・ポーズをとりながら相手との間合いを計る動き、いきなりピンタを張って相手を挑発したり、観客を煽ったりする動きなどなど、練習する事もなくごく自然にできておりました。また、スタン・ハンセン役の先輩、ジャイアント馬場役や長州力役の同輩を相手（役者も揃ってました）に、畳の上で実戦の模写・・・ローキックから延髄斬り、相手が起き上がってきたところでの叩固めやコブラツイストといったフル・コースを披露して、体育会系によくある熱い盛り上がりを引き起こすことができました。スタン・ハンセンのウエスタン・ラリアートには3カウントを奪われなくてはならない、というお約束には少々納得のいかない所もありました（当時はそんなことは言えません）。

卒業後は流石にこのような形態模写を披露することは憚れましたが、ある時ドンキホーテ（いや、東急ハンズだったかも）で白ガウン・黒パンツ・赤タオルなどの猪木コスチュームを購入しました。宴会（主に忘年会や、何故か結婚披露宴）の余興や挨拶で、猪木コスプレをしてモノマネ風に、「元気ですかー。元気があれば何でもできる。いくぞー、1・2・3、ダーッ！」とやらかしますと、どこでも皆さん笑顔で唱和してくれますし、程よい高揚と同時に場が和むように思われます。アントニオ猪木の偉大さをあらためて思い知らされます。この3年はコロナ禍で宴会も無く、大きな声を出すこともできません。そんな中で私は還暦を迎えようとしていますし、猪木さん、あなたはいなくなっていました。それでも猪木さん、いつかまたやらかしちゃっても良いですよ。

本会では、例年新年号に「新春随想」を企画し、年男・年女に当たられます会員諸氏より無作為に選定させていただき、執筆をご依頼申し上げております。

時節がら、ご多忙にもかかわらず、ご寄稿いただき感謝申し上げます。

北海道医師会会員数は、男性7,092名・女性1,034名の合計8,126名（12月7日現在）。そのうち卯年生まれの会員は別表のとおりです。

◇情報広報部◇

(名)

	男性	女性	合計
36歳	23	11	34
48歳	99	22	121
60歳	240	34	274
72歳	156	13	169
84歳	53	3	56
96歳	10	2	12
合計	581	85	666